

男女共同参画の視点からの防災研修

座学

1 防災と男女共同参画

グループ
ワーク

2 男女共同参画の視点から具体的に考える

シチュエーションから考える行政の対策

3 男女共同参画の視点からの防災を実践する

地域の課題と行政が実行すべき解決策

全国の実践事例紹介

まとめ

4 まとめ

地域の災害の特色

地域の防災における 男女共同参画推進の取組

セッション3の進め方

1 グループで「地域の防災対策の『課題』は何か」を話し合う

2 グループで
「男女共同参画の視点から考えて、『優先的な課題』は何か。
それらの課題について、「行政が実行すべき解決策は何か」
を話し合う。

3 全体で各グループで話し合ったことを発表・共有する

4 講師が参考となる取組事例を紹介する。

1. 地域の防災対策の「課題」は？
2. 男女共同参画の視点から考えて、
「優先的な課題」は？（複数可）
それらの課題について、
「行政が実行すべき解決策は？」
3. 発表タイム：各グループで話し合ったこと
を発表・共有しよう

男女共同参画の視点からの防災を実践するために

ポイント

1 防災に係る政策・方針決定過程への女性の参画を拡大する

2 防災に関する各種計画やマニュアルに男女共同参画の視点を反映する

3 防災を担う女性リーダーを育成し、女性リーダーが防災の現場で活躍できる環境を整備する

4 女性を含む多様な住民が、防災について繰り返し考える学習機会を提供する

男女共同参画の視点からの防災研修

座学

1 防災と男女共同参画

グループ
ワーク

2 男女共同参画の視点から具体的に考える

シチュエーションから考える行政の対策

3 男女共同参画の視点からの防災を実践する

地域の課題と行政が実行すべき解決策

全国の実践事例紹介

まとめ

4 まとめ

【取組の概要】

- ・東日本大震災の教訓から、三島市地域防災計画の見直しや避難所運営を行う際に、**女性の視点での意見を反映させるために市長との意見交換会**を開催。
- ・意見交換会で得られた様々な意見を**地域防災計画に反映**させ、男女共同参画の視点からの**避難所運営マニュアルの作成**や**避難所用品の備蓄**、**母親向けの防災啓発講座**等を実施。

1. 避難所運営マニュアルの作成

- ・全ての避難所において、**平常時から女性専用の部屋を特定**
⇒女性用更衣室、専用スペース（授乳室・育児スペース）、女性用物干し場
- ・女性班を設置して、女性への配慮事項チェックシートを作成
- ・要配慮者・女性用の生活必需品物資リストの作成

2. 避難所用品の整備

一目でわかるピクトグラム（絵文字・図記号）等、女性・こどもに配慮したグッズを整備するとともに、**全ての避難所の防災倉庫・体育館において配備。**

3. 「ママが楽しく学ぶ防災講座」の実施

小さい子供を抱えた女性は一般の訓練・講座への参加が難しいことから、受講日を選択できるよう複数回開催するとともに、**託児を完備**。
防災クイズ、町中の危険箇所の確認、非常食の試食・料理などを実施。

【経緯】

東日本大震災（平成23年）

東日本大震災で生じた男女共同参画の視点からの課題を踏まえ、
危機管理担当職員が男女共同参画視点の重要性を強く認識
（*震災直後は、男性職員のみであったにもかかわらず）

女性の視点での意見交換会（平成24年～平成26年）

- ・ 市長とともに、女性に配慮した避難所マニュアル・運営をはじめとした防災対策全般に関する意見交換会を3回にわたり実施。
- ・ 女性消防団員、防災指導員、三島市開催の講座受講者、学生等、**多様な参加者から意見を聴取**

得られた意見は可能な限り全て対応！

男女別更衣室、女性専用スペースの設置とピクトグラム

- ・ 危機管理担当主導で更衣室や女性専用スペースを準備。
- ・ 意見交換会で報告、ピクトグラム等、**分かりやすい表示が必要との指摘**
- ・ **誰にでも一目でわかるピクトグラムを作成**

【取組のポイント】 避難所用品の整備（ピクトグラム）



- ・ 絵と色でわかりやすく表示したピクトグラムを使用した部屋名表示マークを作成。
 - ・ ビブスやアレルギー・マタニティマークはあらかじめ避難所に配備。
- *プライバシーに配慮し、女性専用の各スペースを設置。

【取組のポイント】

意見交換会の実施

男女共同参画の視点からの防災施策を検討するに当たり、**女性の自治会役員やPTA役員、女性消防団員、防災指導員等、幅広い女性と意見交換。**

- ・意見交換会開始時、**危機管理担当課には女性職員がいなかったが、東日本大震災での男女共同参画の視点からの課題を踏まえ、市の防災対策に男女共同参画の視点の導入方法を検討。**
- ・**男女共同参画担当課、女性団体と連携**して参加者の選出を実施。

取組後の対応

避難所に備品を設置した後、**実際に開所訓練を実施。**

⇒避難所の**運営班に女性班や要配慮支援班を設置**したことから、訓練には**女性も積極的に参加。**

訓練等で新たに見えてきた課題は、適宜対応。

男女共同参画の視点からの防災研修

座学

1 防災と男女共同参画

グループ
ワーク

2 男女共同参画の視点から具体的に考える

シチュエーションから考える行政の対策

3 男女共同参画の視点からの防災を実践する

地域の課題と行政が実行すべき解決策

全国の実践事例紹介

まとめ

4 まとめ

まとめ

男女共同参画の推進は
災害に強い地域社会づくりの具体的手段



防災施策に男女共同参画の視点が反映されるよう
関係者がその必要性を共有することが不可欠

災害対応は、地方公共団体の全職員が対応することが必要となるため、日常的に、あらゆる場と機会を活用して、職員の理解を深めることが必要。